

JAグループ宮城 災害復興ニュース (総合版)

第 3 4 号

【平成 23 年 11 月 7 日 (月) 発行】
発行：JAグループ宮城災害復興本部
編集：JA宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8697 又は 264-8207
FAX 番号：022-216-4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

《目次》

I. 復興本部からの情報提供

1. みやぎまるごとフェスティバル2011にて「みやぎの環境保全米宣言」を実施
2. 「TPP交渉参加断固阻止宮城県JA要請集会」を開催
3. 「TPP交渉参加断固阻止北海道・東北地区JA代表者集会」を開催
4. 「TPP交渉参加に反対し日本の食と暮らし・いのちを守る全国決起集会」に参加
5. 「TPP交渉参加反対、食・暮らし・いのちを守る宮城県民集会」を開催
6. 仙台白菜で農地復興。みやぎ生協で販売開始
7. JA宮崎県女性協がJAみやぎ女性協に見舞金。被災地を視察
8. JAグループ支援隊が活動を終了

I. 復興本部からの情報提供

1. みやぎまるごとフェスティバル2011にて「みやぎの環境保全米宣言」を実施

10月16日(日) 勾当台公園にてJA宮城中央会菅原章夫会長が「みやぎの環境保全米宣言」を実施し、宮城米のすべてを環境保全米にしていくことを目指すと宣言しました。この宣言は「みやぎまるごとフェスティバル2011」のステージで行われたもので、菅原会長は「津波で宮城県の水稲は約1万ヘクタールが作付不能となりました。原発事故による放射能被害も心配でしたが、村井知事より「安全宣言」が発出されたところです。被災のなか丹精こめてつくったみやぎの環境保全米をどうぞ召し上がってください」と挨拶しました。

2. 「TPP交渉参加断固阻止宮城県JA要請集会」を開催

10月25日(火) 東京都内品川プリンスホテルにおいて、JA宮城中央会・宮城県農協政治連盟主催により「TPP交渉参加断固阻止宮城県JA要請集会」を開催しました。県内JA代表者ら約80名が参加し、TPP交渉を断固阻止すべく決意を固めました。

当日は、本集会に出席した斉藤やすのり議員(民主)、井上義久議員(公明)、小野寺五典議員(自民)、熊谷大議員(自民)、秋葉賢也議員(自民)にJA宮城中央会菅原章夫会長および(社)宮城県畜産協会秀島理明常務理事より要請書を手渡しました。各議員からは、TPP反対に向けてJAグループとともに闘っていく旨の意見が表明されました。

3. 「T P P 交渉参加断固阻止北海道・東北地区 J A 代表者集会」を開催

10月26日（水）東京都内ホテルニューオータニにおいて、北海道・東北農業対策協議会主催により「T P P 交渉参加断固阻止北海道・東北地区 J A 代表者集会」が開催されました。北海道・東北地区 J A 代表者ら約500名が参加し、J A あさひな佐藤政悦代表理事組合長が決意表明を行いました。

4. 「T P P 交渉参加に反対し日本の食と暮らし・いのちを守る全国決起集会」に参加

10月26日（水）東京都内日比谷野外音楽堂において、J A 全中主催による「T P P 交渉参加に反対し日本の食と暮らし・いのちを守る全国決起集会」に参加しました。3,000名の農林漁業者や消費者らが集い、政府や与野党国会議員に対しT P P 交渉参加は全体に認められないと訴えました。

集会終了後は、宮城県勢約80名も「日本の食と農を守れ！」「震災からの復興に全力を尽くせ！」とシュプレヒコールをあげながら外務省・経済産業省などの周囲をデモ行進しました。

5. 「T P P 交渉参加反対、食・暮らし・いのちを守る宮城県民集会」を開催

11月4日（金）仙台サンプラザにおいて、J A グループ宮城・宮城県協同組合こんわ会主催により「T P P 交渉参加反対、食・暮らし・いのちを守る宮城県民集会」を開催しました。農業関係者だけではなく、（社）宮城県医師会や（社）宮城県歯科医師会などが賛同し約1700人が集まりました。参加者らはT P P がもたらす日本社会への悪影響を主張し、交渉参加に前のめりな政府の姿勢を批判しました。集会の最後にはガンバロー三唱を行い、T P P 交渉参加に断固反対していく意志を固めました。



6. 仙台白菜で農地復興。みやぎ生協で販売開始

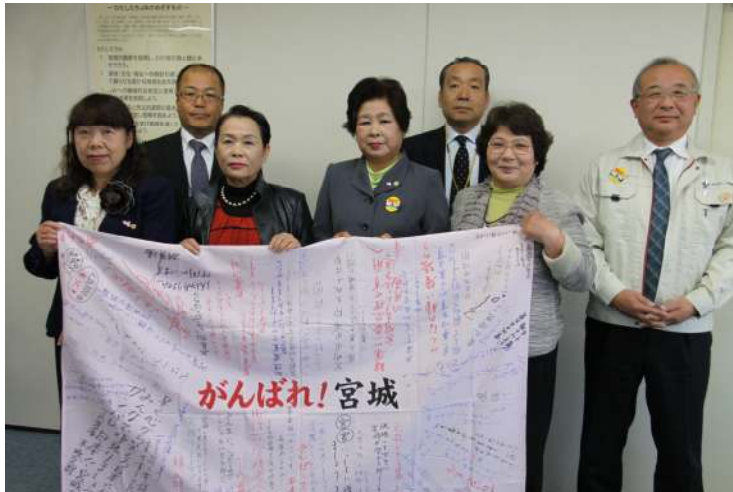
津波被害を受けた農地の復興に向けて、JA 全農みやぎとみやぎ生協は伝統野菜の仙台白菜を栽培しようというプロジェクトを進めています。このプロジェクト発足後、初めて収穫された白菜が11月3日、仙台市宮城野区のみやぎ生協幸町店で販売されました。

この白菜は名取市高館の農地に8月に作付した「松島純2号」。栽培や調理の実習でプロジェクトに協力している宮城県農業高校や仙台市の明成高校の生徒らも店頭立ち、生食や煮物の試食を勧めました。

販売開始にあたって、全農みやぎの千葉和典県本部長は「宮城の復興は農業からと信じてがんばっています。仙台白菜のブランド化を進め、全国においしさを発信していきたい」と語りました。

7. JA 宮崎県女性協が JA みやぎ女性協に見舞金。被災地を視察

11月1日（火）、JA 宮崎県女性組織協議会の横山稜威子会長と長友泰子副会長、JA 宮崎中央会の森敏郎農政部長が仙台を訪れ、JA みやぎ女性組織協議会の八嶋洋子会長、加藤重子副会長らと懇談。「宮崎も支えていただきました。皆さんもきっと元気になります」などと書かれた寄せ書きと共に見舞金を贈りました。一行はこのあと、八嶋会長らとともに、亘理町、山元町、名取市などの被災地を視察。横山会長は「見ると聞くとでは大違い。まだまだ支援していかなければならないと思いました。本当に来てよかったです」と語りました。



寄せ書きを手に JA 宮崎県女性協の横山会長（左から3人目）、長友副会長（左端）と JA みやぎ女性協の八嶋会長（中央）、加藤副会長（右から2人目）

8. JAグループ支援隊が活動を終了

全国JA支援として、4月より継続的に「東日本大震災JAグループ支援隊（全国のJA役職員による災害復興支援ボランティアチーム）」が被災JA・組合員への支援活動を行いました。

被災地からの感謝と要望に応え、7月末までとしていた支援予定を延長し10月28日をもって活動を終了しました。延べ6,103人日の方々が宮城県の農業復興に尽力くださったことに、深く感謝申し上げます。

- (1) 第20陣48名が10月3日（月）に到着しました。今回の支援隊には、宮崎県・岐阜県・滋賀県・栃木県のJA職員の方々が参加し、10月7日（金）までJAいしのまき管内ハウス内がれき・ヘドロの撤去作業やJAみやぎ亘理管内でのハウス内整理作業を実施しました。
- (2) 第21陣38名が10月10日（月）に到着しました。今回の支援隊には、長野県・栃木県のJA職員の方々が参加し、10月14日（金）までJAいしのまき管内およびJAみやぎ亘理管内でハウス内がれき・ヘドロの撤去作業やJAみやぎ亘理管内でのハウス内整理作業を実施しました。
- (3) 第22陣29名が10月17日（月）に到着しました。今回の支援隊には、栃木県のJA職員の方々が参加し、10月21日（金）までJAみやぎ亘理管内でハウス内整理作業を実施しました。
- (4) 第23陣30名が10月24日（月）に到着しました。今回の支援隊には、栃木県のJA職員の方々が参加し、10月28日（金）までJAみやぎ亘理管内でハウス内整理作業を実施しました。

以上